



- 甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から Part2  
～広く仲間を募り、ともに歩みを進め、交流の輪を広げましょう～ 米山 俊彦
- あずさ部長主題：垣根を低くし、活発な活動を 山口 直樹 (東京武蔵野多摩)
- 東日本区理事主題：ワイズのらしさ再発見 山下 真 (十勝)
- アジア太平洋地域会長主題：信念と愛を持って行動しよう 田上 正 (熊本むさし)
- 国際会長主題：信念、愛、行動 エドワード・オン (シンガポール)

甲府やまなみ  
ワイズメンズクラブ  
2026年6月  
No.45

●今月の強調目標  
YMCA サポート  
評価

●今月のことば  
「愚公(ぐこう)山を移す」

三井 雅之 君 選

今月の例会案内 (第45回)

- 日時：2026年6月3日(水) 18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- 会費：1,500円(食事代)
- ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 三井 雅之 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話 「わたしの思うボランティア」  
山梨県立中央病院 緩和ケアセンター統括部長  
山梨ホスピス協会理事長 阿部 文明 様
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo of monthly



【5月23日(土)、山梨YMCAチャリティランにて  
やまなみメンバーと“やまなみサポーター”】

5月のデータ

会員数:12名 例会出席:メン7名 ゲスト1名(土井 義尚様) 例会出席率:58 % ニコニコ:3,262円  
メーキャップ:藤原 修正出席率:67 %

ハッピーバースデー

メネット  
田草川貴子 (6/9) 仙洞田克子 (6/12)

アニバーサリー

該当者なし

▼今月のことば▼ 三井 雅之

中国の戦国時代の典籍『列子』湯問編に載せられた説話です。  
愚公という老人が、交通の便をよくするために一族で自宅の前にある山を崩しはじめた。これを見た人が、その愚かさを笑ったのに対し、愚公は、子々孫々続ければいつかは成功すると答えた。その志に感じた天帝(神々の王)が一夜で山を移させたという。  
「一見、無謀で愚かに思えるような努力であっても、誠実さを失わずにコツコツと継続する姿勢こそが、大きな偉業を成し遂げるための鍵である」というメッセージを伝えています。  
20世紀になって、毛沢東が演説の中で引用したため、有名になりました。(Wikiedia他より引用)

## ● アフリカについて学んだ5月例会 ●

松本 公夫

甲府市では市民の生涯学習をお手伝いする一環として、「出前講座」というプログラムを設けています。登録した市民講師や甲府市の職員を地域のグループやPTAなど、身近な学習会や講演会に派遣するものです。これまで、やまなみクラブの例会の卓話にも何度かお願いしました。様々な分野がある中で、今回は国際理解の「アフリカ千日」というテーマがあったので申し込みました。講師の土井義尚さんという方の情報は全くありませんでした。

5月13日(水)、例会場のYMCAに現れたのは作務衣姿の土井さんでした。「えっ?」と驚きながら、名刺を交換すると「高成山自性院 住職」とありました。



【作務衣姿で講演する土井義尚様】

卓話ではご自身は触れられませんが、後日ネット検索して知ったのは、土井さんは元陸上自衛隊の陸将で、PKO(国際連合平和維持活動)の一環でアンゴラ共和国に派遣され、4年間地雷除去活動を指揮されました。定年退官後、2001年に「日本地雷処理を支援する会」を創設し初代理事長に就任、地雷や不発弾処理の専門家として、カンボジア、ラオス、アフガニスタン、アンゴラでの撤去作業に取り組んで来られました。卓話ではアンゴラを含め、アフリカ大陸全体の歴史(人類の祖先一奴隷制度一植民地時代まで)や文化について、多角的に紹介されました。

### ▼ ニコニコメッセージ ▼

Happy Birthday 感謝! いれからも元気で生きてゆきたいです。 大澤祥子

▼中々知る機会がなかったアフリカについて、少しだけ知ることができました。土井さん、厳しい話も含めて、多彩な話を面白くお話いただきありがとうございました。(米山俊彦)

▼高成山自性院の住職さんより、アフリカ(アンゴラ)千日体験を話していただいた。当時の活動、現地での仕事、生活を紹介された。大昔私はケニアで活動していた頃を思い出していました。(松本公夫)



一方土井さんから、やまなみのブレンを読みながらワイズの活動について色々質問を受けました。

なお、土井さんは定年後、永平寺で得度し、現在は甲府市高成町の限界集落で住職をされています。檀家は10軒、集落の人口は3人だそうです。

甲府市の出前講座には、別のテーマ(「善の心得とは」、「限界集落での独居10年の思い」)でも登録されているので、機会があればお聴きたいものです。

ハッピーバースデーでは、5月28日に90歳を迎える大澤祥子さんを祝しました。

出席者(敬称略)、やまなみメン:米山・大澤・渡邊・和田・田草川・仙洞田・松本、ゲスト:土井義尚



▼土井義尚住職、ありがとうございました。(渡邊 隆)

▼仕事の一つキリがついて安心しました。

(和田幸士)

▼5月23日にチャリティーランがあります。皆さまご協力お願いします。アフリカの興味深い話が聞けてよかったです。(田草川啓)

▼アフリカの歴史については知らないことも多かったので、理解を深めることが出来ました。大澤祥子さん、卒寿おめでとございます。90歳とは思えない前向きな姿勢を見習いたいです。これからもお元気でワイズの例会に出席ください。(仙洞田安宏)

## ◆ 東京西クラブ 50周年記念の集い ◆

仙洞田安宏

5月14日(木)、東京西クラブの設立50周年記念の集いが、東京杉並区の杉並会館で開かれ出席してきました。東京西クラブと言えば、3段組のブリテン-軽快でエスプリの効いた内容-は、お手本にしてきました。また、永年続けて来たウォーキング事業「WHO」には、私も2度参加したことがあります。

来期からは東京武蔵野多摩、東京たんぼぼと合流して「東京ワイドウエストクラブ」として新たな歩み始めることになりました。あのブリテンが見られないの

は少し寂しいですが、新クラブの前途を祝したいと思います。

記念の集いは、平日の午後1時からにも関わらず、山下真・東日本区理事をはじめ、ヘキサゴンDBC(千葉ウエスト・京都ウエスト・神戸西・熊本西)などから21クラブ45人の出席がありました。久しぶりに他の部の人たちと交流することができました。

私事ですが、2011年に東京西クラブのチャーターメンバーである吉田明弘さんから東日本区のアナウンサーを引き継ぎました。その任にあらずと思いましたが、敬愛する吉田さんの推薦と聞き、光栄なこととお引き受けしました。アナウンサーとして大した働き

はしていませんが、この日配布された葉(プログラム)と『WHOが勧めるウォーキングコース』という立派な冊子を東日本区の書庫に保存したいと思います。



【吉田明弘さんと】

## ♣ やまなみ農園だより ♣

やまなみ農園もいよいよ収穫の季節になりました。5月20日、24日、27日に玉葱を収穫しました。昨年は、甲府駅のペDESTリアンデッキで毎月第3日曜日に開催されているフリーマーケット(ソライチ)で販売しましたが、今年は収穫とのタイミングが合わなかったため、山梨YMCAの玄関先に置かせてもらい無人販売しました。お陰様でYMCAの職員や利用者さんに購入いただき完売しました。

また5月3日に皆で作った畝に、5月9日サツマイモ(安納芋)60株の植え付けをしました。高温と雨不足で根付くか心配だったので、何度か水遣りに行きました。ジャガイモも何とか順調に生育しています。豊作を祈りつつ6月あるいは7月のソライチで販売できればと思います。これからは雑草との闘いの日々です。

(仙洞田安宏)



## 役員会報告

- ▼日時:5月27日(水) 18:00~19:30
  - ▼場所:山梨YMCA
  - ▼出席者:米山・松本・渡邊・藤原・仙洞田
  - ▼報告
    - ✓チャリティーランについて、松本さんから報告、5/29の全体反省会で発表
    - やまなみ農園について、玉葱の売上状況が仙洞田からあった。
  - ▼協議・確認
    - ✓6月例会のプログラムの詳細を確認
    - ✓7月から9月例会のプログラムについて協議
    - ・7月-7/11(土):11:00から和田会員の運営するコミュニティスペース「くらんく」での納涼映画会
    - ・8月-8/5 卓話「ボーイスカウト活動と山梨YMCA」
    - ・9月-9/2 甲府クラブと合同例会(やまなみ担当)
    - ✓次年度の役員体制を確認、行事予定を協議
- (書記・仙洞田安宏)

## ▼ これからの予定 ▼

- ✓6月 6日(土) 東日本区大会(石巻市)
- ✓6月21日(日) ソライチ(フリーマーケット)
- ✓6月27日(土) 山梨YMCA創立80周年記念式典
- ✓7月11日(土) 7月例会-総会・納涼映画会  
(南アルプス市荊沢・くらんく)
- ✓7月19日(日) ソライチ(フリーマーケット)
- ✓8月 1日(土) あずさ部評議会(長野)

## ▼ 第28回山梨YMCAチャリティーラン に参加して▼

米山 俊彦

5月23日土曜日、小瀬スポーツ公園補助競技場で開催された第28回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーランに、甲府やまなみクラブから、チャリティーラン実行委員長の松本さん、仙洞田さん、大澤さんと私が参加しました。そして、クラブ以外からも松本さんの友人の渡辺茂さんと岩本祐成さんのお二人にお手伝いをいただきました。ありがとうございました。

当日は、過ごしやすい気候の中で、集まった仲間の皆さんとともに、楽しく、気持ちの良い汗を流すことができました。今年は、51チームのランナーをはじめ、総勢500名を越える参加者が大会を支え、盛り上げました。山梨のチャリティーランでも、多くの皆さんのご努力やご尽力、そしてYMCAを支える絆の強さを感じてきましたが、チャリティーランは、障がいのある子どもたちを支援するイベントとして、全国21カ所で1万人以上が参加

をするイベントだと知って、チャリティーランに関わる人達の熱い想いとその絆の広がりを感じることができました。



【支援金の“小切手”を贈呈する松本さん】

多くの皆さんの参加・協賛のもとに長きにわたり継続されていることに、YMCAをはじめ、多くの関係者の皆さんのこれまでのご努力に改めて敬意を表します。やまなみクラブとしても参加できた事を、大変嬉しく思いました。これからも、こうしたチャリティー事業に関わっていく事で、地域における連帯や全国的な交流の広がりにも繋げていきたいと思っております。



山梨YMCA 総主事  
中田 純子

### 「チャリティーランの御礼と、 創立 80 周年記念式典に向けて」

爽やかな初夏の風が吹き抜ける6月を迎えました。皆様におかれましては、今期の締めくくりの月となりました。この1年間、YMCAの活動をいつも温かく支え、伴走して下さったことに、心から感謝申し上げます。

先日開催いたしました「山梨YMCAインターナショナルチャリティーラン2026」では、多大なるご支援と力強いご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年の大会は、まさにYMCAらしい多様性と活気に満ちた、素晴らしい一日となりました。0歳の小さなお子様からシニアボランティアの皆様、本当に幅広い皆様が集まってくれました。何より嬉しかったのは、山梨学院大学陸上競技部の皆さんが若さあふれる力強い走りで大大会にエネルギーを吹き込んでくれたこと、そして未来を担う子どもたちが、キラキラとした笑顔とひとりひとりのあ

ふれるエネルギーで一生懸命にタスキをつないでくれたことです。年齢や国籍、障がいの有無を超え、地域の若者や子どもたちが一体となって心地よい汗を流す姿にも、胸が熱くなりました。無事に終えられましたこと感謝いたします。

今年、山梨YMCAは創立80周年という大きな節目を迎えています。この記念すべき年を皆様と共に祝い、次の時代への確かな一歩とするため、現在「80周年記念式典」の開催に向けた実行委員会が本格的に始動しております。実行委員会には、ワイズメンズクラブの皆様からも多くの知恵とエネルギーをいただいております。これまでの80年の歩みに感謝を捧げるとともに、今回のチャリティーランで実感した若者や子どもたちの輝く未来のために、私たちは何ができるかを前向きに語り合っています。この式典を、皆様とのパートナーシップをさらに深め、次世代へ希望を繋ぐ素晴らしい出発点にしたいと考えております。

まもなく、今期の活動の締めくくりの時となります。役員の皆様、1年間本当にありがとうございました。